



切実なエルダー問題の改善を 第6回品川地区分会大会開催

12月25日、地本会議室において、第6回品川地区分会大会が開催された。エルダー発令に際しての問題点や、エルダー先の劣悪な労働条件に対する意見などが出された。

国労東京支部としても第2回定期支部大会での代議員発言を受け、エルダー組合員の集まる場を設けようということで議論を進めているところである。何か問題が起こった際は、支部に相談してほしい。

駅職場

- エルダー発令があったが、第3希望までにも入らない遠隔地となった。
(家は川口⇒我孫子) 逆に半年後に退職を迎える仲間は (家は柏⇒西日暮里)
若年出向となった。嫌がらせか？
- この1年、支部が統合になったり、エルダーが増えて本体の組合員が少なくなり、時代の流れを感じる。会社も統合を進めている。専門職をつくらず、「なんでも屋さん」を増やす施策を進めている。



信号職場（エルダー）

- JR本体の赤字の影響を受け、責任者手当が減額された。エルダーは手当がつかないのに責任者だけやらされる。改善しないと今後行く人がいなくなる。
- 出向先に組合はあるが弱いため、労働条件がひどい。週3回夜間作業をさせられている仲間もいる。
- JR本体の赤字の影響を、下請け会社はまともに食らっている。超勤しなければ仕事が回らない実態。ヘタをすればサービス残業もある。
- 労働者をこき使い賃金は安い。若い仲間はやめていく人も多い。

保線職場

- コロナの感染対策は不十分だった。
- 慢性的な要員不足のため、超勤業務が改善されない。若い仲間の中では、超勤が生活給になっている実態もある。上部機関に問題をあげていきたい。
- 要員不足の中での夜間作業者の拘束問題は、団交で上げたが平行線だった。
- エルダー先は一カ所しか示さず、行かざるを得ない。やむなく行っても、やめてしまう現状もある。
- 保線職場でも若い社員の早期退職がある。会社に将来性がない。労働組合は必要だし、職場でモノが言えていれば違う

結果になっていたかもしれない。

JESS職場

- 2022年2月、五反田駅が全面委託となる。
- 上野遺失物センターも12月1日でなくなり、東京に統合された。

信号職場

- 変革2027が提案され、現場長から各社員への説明が行われている。今まで支社が行っていた業務を現場へ落すというもの。



2021年度営業関係施策（その2）の団交が開催される

2021年12月23日、2021年度営業関係施策（その2）のうち、池袋駅の問題についての団交が開催された。池袋駅改札は、一日の出面が現行14徹1日勤のところ、変更後は11徹2日勤という提案がされ、現場では「これで回るの」「少しひどいんじゃない」「現場の意見をまったく聞いていない」など、不安や怒りの声があがっていた。2022年1月1日実施予定ということで、先行して団交が開催されたが、支社からは、「駅の変革」のスピードアップ、お客さまのご利用状況を勘案して、提案の体制で対応可能というもので、現場の実態にそぐわない、そしてサービス低下はやむを得ない、ともとれるような回答がされた。

さらに、営業関係施策（その3）も昨年末に提案され、駅職場の徹底した合理化が進められようとしている。

国労東京支部として、この問題を「利用者の安全面」「サービス面」から検証し、現場で働く私たちが安心して安全に楽しく働き続けることができるように、職場の仲間の声に依拠した闘いを進めていく。

【池袋駅の要求】

- 1、新型コロナウイルスの新規感染者が減少し、お客さまの流動も戻りつつあるが、改札における3徹減の具体的な根拠を明らかにされたい。
- 2、メトロポリタン改札を終日無人化するとあるが、サービスの低下を招き、トラブル発生件数も増加することが危惧される。現在も遠隔体制で対応できない場合は、南口社員が対応している現状がある。インターホン越しでは話が通じない場合も多くある。南改札が1名減の3名体制では、お客さま対応等で業務量増加になるのは明らかであり、見直されたい。
- 3、中央1改札は旅客数も多く、お客さまトラブル・急病人・酔客対応等に対して今まで4名体制で業務を行ってきた。1名減の3名体制に変更する根拠を明らかにされたい。
- 4、埼京・湘南新宿ラインホームはホームドアも設置されておらず、改正後はホーム要員を配置しないとなっている。お客さまの安全や列車運行に支障が出ることが危惧されるが、会社としての考えを示されたい。

【文書回答】（要点のみ）

⇒「駅の変革」のスピードアップに掲げる駅業務の変革に則り、池袋駅の駅業務体制の見直しを行うものである。

⇒お客さまのご利用状況等を勘案し、駅業務体制の見直しを行うものであり、提案の体制で対応可能と考えている。

【交渉内容】（抜粋）

組合：お客さまの流動も戻ってきている中で、なぜこの時期に3徹も要員を減らすのか。券売機の売り上げも、ほぼ戻ってきている。

会社：社長いわく「コロナ以前には戻らない」と考えている。必ずしも収入と人流は一致しない。

組合：各窓口が1名ずつ減らされる。トラブルや急病人対応の際など、現状でも窓口を閉めて対応せざるを得ない。無線やテレスピで他の窓口に応援を要請しても、どこの窓口もぎりぎりの要員で対応しているため、対応できない。会社としてどのように考えているのか。

会社：繁華街がありお客さまが多いのも認識している。異常時は窓口を閉めることについては致し方ないと思う。また、管理者も含めた駅総体として対応してもらいたい。

組合：申し訳ないけど、池袋駅の管理者は電車が止まったり、異常時でもほとんど現場に出てこない。小さい駅は管理者も含めて対応していると聞かすが、どうなっているのか。

会社：支社からも指導していく。

組合：今回の件と直接は関係ないが、新入社員の教育問題などでも、現場の意見などはほとんど聞かずに進めている。もう少し現場で話し合えるような雰囲気が望ましいと思う。この間の団交でも、何か問題があったら現場の管理者に言ってください、と回答しているが、現場では私たちの意見にほとんど耳を貸さない実態だ。私たちはどこで意見を言えばいいのか。

会社：すべての意見を聞くことは難しいと思うが、基本的には現場で話し合いをするのが望ましいと考える。